

9月15日 ゲスト卓話



『ロータリーの友』を楽しみましょう

ロータリーの友 編集長
二神典子 様
(東京築地ロータリークラブ)

今月は「ロータリーの友月間」です。4月に開催された規定審議会で、規定が変更され、ロータリーのさまざまところで、この変更点について、活発に議論されているようです。今回、変更されなかったのですが、国際ロータリー細則と標準ロータリークラブ定款には、ロータリーの雑誌の購読義務について書かれています。アメリカとカナダ以外のロータリアンは、「The Rotarian または指定された地域雑誌を購読する」ということになっていますが、日本のロータリアンは、基本的には『ロータリーの友』誌を購読してくださっています。

日本中には約 2,300 のクラブがあり、世界中では約 35,000 のクラブがあります。『ロータリーの友』に掲載しているのは、それらの一部にすぎませんが、それでもいろいろなクラブがあって、いろいろな活動をしていることを理解いただけるとと思います。また、ほかのクラブのことを知ることによって、自分のクラブの活動のアイデアをもらえたり、活動のあり方を見直せたり、そして、さらに自分のクラブのことが好きになったりすると思います。

お気づきのように、今年の 7 月号から、天地の長さを 17mm 長くしてサイズを A4 判にしました。7 月号は通常よりページ数も多いので、予想していたよりも大きかったという印象を持ち、「大きくて邪魔になる」という皆さま

からの反応を心配していましたが、これまでのところ、「大きくなって良かった」というご意見の方が、圧倒的に多く、安心しています。

前年度からは、2つ、新しい欄を設けています。1つは「パズル de ロータリー」。問題は一般的なもので、答えがロータリーに関係しています。楽しみながら気楽にロータリーの知識を増やしていただくことができると思います。毎月、200人ぐらいが応募してくださっています。皆さまのチャレンジしてみてください。

2つ目が「World Roundup 世界のロータリーニュース」です。国際ロータリー(RI)で発行している『The Rotarian』からの転載です。世界各国のクラブがどのような活動をしているのかをコンパクトにまとめた記事です。世界地図の上に記事が配してあります。『The Rotarian』の地図は大西洋が中心で日本が東の端にあります。『ロータリーの友』では太平洋が中心で日本が真ん中にある地図に入れ替えました。ささやかなことですが、これが地域化。ロータリー地域雑誌として、読者の視線に合わせて編集することが大切だと思っています。

今年度も、最初に申しあげましたサイズの変更に加え、いくつかの変更をしました。表紙は、ロータリアンからの公募でしたが、今年度は、ロータリーの活動写真を使っています。現在は、国際ロータリーのウェブサイトにある写真を利用していますが、できれば日本のロータリアンの活動写真を掲載したいと思っています。

2つ目は「わがまち・・そしてロータリー」として、まちを中心に紹介したこのシリーズを、「クラブを訪ねて」としてクラブの紹介に変更しました。

戦後に復帰したあと1地区だった日本の地区が2地区に分割されたのが1952年7月です。2つになった地区の懸け橋として提案されたのが雑誌の発行。その後、準備期間をへて1953年に『友』誌は創刊しました。創刊して63年がたちますが、『ロータリーの友』のバックナンバーを読むと、ロータリーのことだけではなく、その時の日本の状況もよくわかります。時代の変化を知ることができます。今、発展途上国に人たちに対して実施しているプロジェクトを、昭和30年代の『友』誌を見ていましたら、クラブの地域社会の人に対して実施していました。今、2020年の東京オリンピックのことが話題になっていますが、1964年の東京オリンピックが開催された以前の日本は、貧しかったのだなと、その『友』の記事を見て思いました。

2020年に東京で2度目のオリンピックが開催されます。2020年の東京オリンピックの時に、ロータリーでも支援をしたいと、東京のクラブを中心にいろいろと考えられているようです。そのためには、これまで日本で開催されたオリンピックでは何をしてきたのかを知っている方がいいと思い、『友』誌の10月号に特集を組みました。何かの参考になれば幸いです。

ますが、同時に、誌面を見て、懐かしくお感じになると思います。

皆さまは『友』誌の「お好きなところをお好きなように」お読みいただければと思います。ロータリーに入会して何年なのか、所属の委員会は何なのか、クラブの状況はどうなのか、それぞれの方の背景によって、オススメ記事は違います。ご自身で、その時に興味があると思った記事を読んでいただければ十分です。

今年の規定審議会で、規定が大きく変わりました。IT技術の進歩によってもロータリーがかわってきています。ほかにもいろいろな要因があると思いますが、変わることがいいのか悪いのか、判断は人それぞれ違うと思いますが、どのようになっているのか、まず、現状を知ることは大切だと思います。いろいろな方の声に耳を傾けることも大切です。そうして初めて、正しい判断ができ、また、皆さまが理想とされる活動をすることができるのだと思います。

皆さまが十分な情報の情報を基にして、ロータリーに関して考えたり、判断したりできるよう、偏りのない、さまざまな情報を提供できるよう努めていきたいと思っています。